



# 掛合中だより

7月号  
2010年7月20日

## 校長室から

各地で大きな被害をもたらした豪雨も峠を越し、夏らしい天候となってきましたが、先日校舎の南側一面に作業用の足場が組み上がりました。これは以前文書にてお知らせしました太陽光発電のパネルを屋根に設置するためのものです。この夏休みには校舎内でもアスベストの除去工事が行われます。夏休みと言っても生徒は部活動や体育祭の準備等で校舎内外で活動しますので、こうした諸活動に支障がないように、そして何よりも危険が及ばないように学校としても教育委員会や施工業者の方と連絡を密にして万全を期す考えです。保護者の皆様や、地域の皆様にもご迷惑ご不便をおかけするとは思いますが、何卒ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

さて、いよいよ明日から夏休みです。生徒には今日担任から通知表を渡しましたが、学校にも通知表とでも言うべきものが2つ届きました。1つは5月11日、12日に実施した島根県の学力検査の結果であり。もう1つは同じく5月11日、12日に実施した新体力テストの結果です。もちろんこの2つとも個人の学力や体力がどの程度であるかを調べるものではありませんが、市や県やあるいは国の平均と比べたり、昨年あるいは一昨年の結果と比べる、いわゆる経年比較したりすることによって、本校の教育活動の充実度を計る側面も持っています。

まず新体力テストの結果をみると、徐々にではありますが教育活動の成果が結果に反映されていると言えます。1例を挙げると、3年生が1年生の時は男子が「50m走」「立ち幅跳び」「ハンドボール投げ」「持久走」「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横跳び」の計8種目全てにおいて、県そして全国平均より下回っていました。それが2年生になると2種目上回り、今年度は4種目上回ることができました。同様に3年生女子も1年時1種目、2年時2種目、3年時5種目と、着実に県や全国平均を上回る種目を増やしています。これは普段の体育の授業において生徒の実態をふまえた学習活動を展開したことはもちろんですが、19年度の新体力テストの結果を踏まえて20年度から持久力をつける目的から実施した校内ロードレースも一因だと思っています。

一方県の学力検査は、残念ながら各学年とも市や県の平均を上回っている教科よりも下回っている教科が多い結果がでました。しかし下回った教科も前年度、そして前々年度の結果と比較すると確実にその点差を縮めています。中には昨年は7点差あったのを1点代にまで縮めた教科もありました。これも体育科と同様、通常の授業の積み重ねの結果が反映されたものだと言えますが、今後さらに授業改善をはかり着実な学力向上を目指さなければいけないと考えております。そのためこの学期末も2学期からの授業改善に役立てるため、生徒による授業評価を実施した次第です。学力検査の結果は個人面談の折個票をお返ししております（1年生は8月お返しします）ので、通知表と併せてご覧になり、お子さんの強み、弱みを把握されますとともに、今後の家庭学習にも役立てていただきたいと思っております。

夏休みを前にした3年生の学年便りには、「県大会・コンクール・各種大会・全中に向けて」「各高校のオープンキャンパス」「職場体験事前打合せ」「体育祭準備活動」「学力補充・受験勉強」と多くの項目が並んでおり、それぞれにコメントがありました。ここから明日からの夏休みが決してのんびりした日々ではないことがよく分かります。これは3年生までではないにしても、1・2年生も同様です。是非1日1日を大切に自分自身が納得のいく夏休みにして欲しいと思います。そして8月27日の2学期の始業式にはみんなが元気に登校してくれることを願って止みません。

終わりになりましたがこの1学期、保護者の皆様、そして地域の皆様には多方面に渡りご支援・ご協力をいただき大変ありがとうございました。改めまして厚く御礼申し上げます。